

第4章 緑区のいま・むかし

緑区の今昔写真

緑区制50周年に合わせ、区民の皆さんに御提供いただいた多数の貴重な写真を、今の風景とともに紹介します。緑区の昔と今を比較したり、昔懐かしい風景を振り返ったりしてみませんか。(敬称略)

緑区にある駅のあゆみ

長津田駅

長津田駅は明治41年の横浜線開通時からある駅です。

▶ 昭和初期の長津田駅



撮影者：不明、緑区役所蔵(昭和初期)

▶ 開業当時の東急長津田駅



撮影者：不明、東急長津田駅所蔵(昭和41年)

十日市場駅

十日市場駅は地元からの要望により、昭和54年に鴨居駅に次いで開業した駅です。

▶ 開業当時の十日市場



撮影者：不明、十日市場町自治会所蔵(昭和54年)



現在



現在



現在

中山駅

明治41年に横浜線開通時に開業しました。平成20年には市営地下鉄グリーンラインが開通しました。

▶ 中山駅複線開通



撮影者：岩間 茂次(昭和53年)



現在

鴨居駅

鴨居駅は地元住民が寄付をつり開業した請願駅です。3代目にあたる現在の鴨居駅は平成10年に改修されました。

▶ 初代鴨居駅開業



提供者：柳下 勤(昭和37年)

▶ 2代目鴨居駅



撮影者：不明、緑区役所蔵(昭和58年)



現在

長津田

▶ 御野立所から長津田駅方面



撮影者：荻野 富蔵 提供者：荻野 稔
撮影場所：御野立所 撮影時期：昭和40年頃



▶ 長津田小学校の跡地



撮影者：千原 康夫 撮影場所：現・大林寺山水園
撮影時期：昭和52年



▶ 開発前の馬の背



撮影者：岡部 豊 撮影場所：現ライフプラザ新緑の
崖の上 撮影時期：昭和39年



十日市場

▶ 十日市場駅南側



撮影者：不明 所蔵：十日市場町自治会
撮影場所：十日市場駅南側 撮影時期：昭和54年



▶ 日向山神社の曳家工事



撮影者：千原 康夫 撮影場所：日向山神社前
撮影時期：昭和48年



▶ 旧十日市場中学校横の桜並木



撮影者：山口 等 撮影場所：現十日市場小学校付近
撮影時期：昭和50年



中山駅南側

▶中山商店街(台村町交差点方面)



撮影者：不明 所蔵：横浜市市史資料室
撮影場所：中山商店街 撮影時期：昭和40年



現在

▶中山駅西側周辺



撮影者：扇谷 克幸 撮影場所：旧県公社の共同住宅
(現マルダイスクエア) 撮影時期：昭和41年



現在

▶中山駅周辺



撮影者：扇谷 克幸 撮影場所：旧県公社の共同住宅
(現マルダイスクエア) 撮影時期：昭和41年



現在

中山駅北側

▶中山駅北口ロータリー



撮影者：柳澤 美光 撮影場所：中山駅北口
撮影時期：昭和58年



現在

▶旧山下小学校



撮影者：千原 康夫 撮影場所：旧山下小学校(現・
山下地域交流センター) 撮影時期：昭和59年



現在

▶西八朔町から眺めた冬の丹沢連峰



撮影者：片山 英一 所蔵：緑図書館
撮影場所：西八朔町 撮影時期：昭和59年



現在

撮影協力：横浜商科大学

鴨居

▶旧鴨池人道橋



撮影者：不明 所蔵：緑区役所
撮影場所：鴨居駅 撮影時期：昭和51年頃



▶田園風景in白山町



撮影者：磯貝扶二男 撮影場所：白山堂山
撮影時期：昭和38年



▶東本郷一丁目造成直後の家



撮影者：遠藤勝 撮影場所：東本郷一丁目
撮影時期：昭和40年



緑区役所のあゆみ



(昭和145年)



撮影者：不明、横浜市史資料室所蔵 (昭和47年)



緑区今昔写真展

緑区制50周年を記念し、広く区民の皆さんに提供していただいた緑区の昔の写真と、今の写真を比較する「緑区今昔写真展」を開催しました。



グリーンライン中山駅



中山地区センター



十日市場地区センター

展示会場・日程

展示会場	展示期間
グリーンライン中山駅	1月11日(金)～24日(木)
十日市場地区センター	1月29日(火)～2月12日(火)
白山地区センター	2月1日(金)～17日(日)
中山地区センター	3月1日(金)～17日(日)
緑区役所	3月4日(月)～15日(金)
緑図書館前のホール	3月12日(火)～25日(月)
長津田地区センター	3月13日(水)～27日(水)
緑区役所	4月15日(月)～26日(金)

(いずれも平成31年)

緑区制50周年のあゆみ

昭和44年 — 平成30年

昭和44年	港北区から分区し、緑区が誕生。川和町の区庁舎で業務を開始する。(人口123,262人、面積77.60km ²) / 東名高速道路全面開通	平成3年	川和郵便局が中山町に移転し、緑郵便局として業務開始
昭和46年	竹山団地完成	平成4年	横浜市行政区再編成審議会が、緑区・港北区の4分割案を答申
昭和47年	緑区総合庁舎が寺山町に完成、業務開始 / 緑公会堂開設 / 三保市民の森開園	平成5年	長津田行政サービスコーナー業務開始(平成31年3月閉所)
昭和48年	緑警察署開設	平成6年	行政区再編実施により、現在の緑区(人口149,319人、面積25.42km ²)、現在の港北区、青葉区、都筑区の4区誕生 / 区民投票により区の木「カエデ」区の花「シラン」が決定 / 現在の緑土木事務所開所
昭和50年	東京工業大学すずかけ台キャンパス開設(旧長津田キャンパス)	平成7年	緑図書館、十日市場地域ケアプラザ、老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘の複合施設開設 / 緑区休日急患診療所開所 / 横浜商科大学みどりキャンパス開設(平成21年に運動部のみの使用となる)
昭和54年	横浜線十日市場駅開業	平成8年	区の木・区の花のデザイン制定
昭和59年	白山ハイテクパークを整備し、先端技術の研究開発企業を誘致	平成9年	区のうたの制定 / 昭和大学横浜キャンパス(旧昭和大学医療短期大学)開設
昭和61年	山内支所を廃止し、緑区役所北部支所を開設 / 緑スポーツセンター開館	平成10年	中山地区センター、緑区社会福祉協議会、中山地域ケアプラザ等の複合施設「ハーモニーみどり」開館
昭和62年	白山ハイテクパーク操業開始		
昭和63年	JR横浜線全線複線化、快速運転開始 / 県立四季の森公園開園(平成2年に全面開園)		
平成元年	緑区のシンボルマーク制定 / 山下小学校分校跡地に山下地域交流センターが開館 / 東洋英和女学院大学、横浜創英短期大学が開学		

緑消防署のあゆみ

神奈川消防署時代 【昭和26年まで】

昭和20年 神奈川消防署 長津田消防出張所開設

港北消防署時代 【昭和26年～昭和47年】

昭和42年 港北消防署 十日市場消防出張所開設

分区前の緑消防署 【昭和47年～平成6年】

昭和47年 港北消防署から分離独立 緑消防署の開設

昭和50年 鴨居消防出張所開設

昭和59年 白山消防出張所開設

分区後の緑消防署 【平成6年～令和2年3月現在】

平成6年 行政区再編に伴い組織の分割

平成26年 緑消防署の新庁舎完成



昭和40年代の標準型ポンプ車



緑消防署新庁舎

平成11年 よこはま動物園ズーラシアが一次開園(平成27年ズーラシア「アフリカのサバンナ」全面オープン)

平成12年 新治市民の森開園

平成14年 市営北部斎場開設

平成15年 鴨池大橋開通

平成17年 鴨居原市民の森開園

平成18年 みどり地域活動ホーム「あおぞら」、緑区生活支援センター、緑区市民活動支援センター「みどりーむ」、地域子育て支援拠点「いっぽ」開設

平成20年 霧が丘複合施設「霧の里」開設／市営地下鉄グリーンライン開通／鴨居上飯田線供用開始

平成21年 緑区キャラクター「ミドリン」誕生(愛称は翌年1月に決定)／新治里山公園・にいほる里山交流センター第1期開園(平成24年第2期開園)

平成22年 山下長津田線「白鴨トンネル」開通

平成24年 横浜創英大学開学

平成25年 緑区民文化センター「みどりアートパーク」開館

平成26年 みどりーむ新築移転／緑区役所耐震補強工事により本庁舎と仮設分庁舎で業務開始／緑区遺産第一号「緑新栄会」登録／中山北山田線供用開始

平成28年 緑区役所耐震補強工事完了、全課が本庁舎で業務開始

平成30年 緑区制50周年ロゴマーク、キャッチフレーズの制定

緑区のシンボルマーク



緑区制50周年のあゆみ(病院編)

年	出来事	病院数	一般診療所数
昭和44年	港北区から分区して緑区が誕生	3	74
昭和61年	緑区役所北部支所が開設される	17	185
平成7年10月	前年11月に、青葉区と都筑区が誕生して、現在の緑区になる	8	72
平成31年3月	現在	8	124

(現在以外の統計数については『横浜市統計書』より引用)

災害時に被災を免れた場合に、主に中等症の負傷者受入れについて協力いただく病院が区内に7か所あります。(開院順。開院年については、各医療機関のWebページを参照。名称は令和元年10月1日時点)

緑区災害時救急病院

開院年	病院名
昭和30年	一般社団法人日本厚生団 長津田厚生総合病院
昭和46年	医療法人社団恵生会 竹山病院
昭和48年	医療法人社団 鴨居病院
昭和55年	医療法人社団青葉会 牧野記念病院
昭和56年	医療法人社団元気会 横浜病院
昭和63年	医療法人若葉会 横浜田園都市病院
平成3年	医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院

緑区 まちの変遷

緑区では、明治41年（1908年）に生糸を輸送する目的で現在のJR横浜線が開通したのをきっかけに、区域の都市形成が始まりました。

鉄道は鶴見川に沿って通され、開通と同時に中山駅と長津田駅が開業し、鉄道駅を中心に市街地が徐々に広がっていきました。

昭和30年代に入ると、高度経済成長により都市への人口集中が顕著となり、緑区でも丘陵地が造成され、中小規模の団地開発が始まりました。

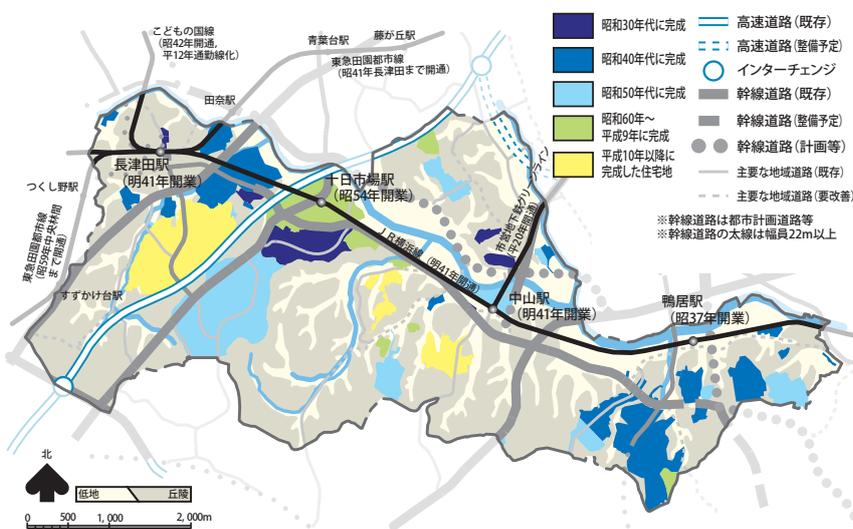
こうした中、昭和37年（1962年）に鴨居駅が地元住民の請願により開業しました。昭和40年代には大規模な土地区画整理事業などによって、さらに住宅市街地が広がっていきました。

周辺の土地区画整理事業に伴い、昭和54年（1979年）に十日市場駅が開業しました。近年においても長津田特定土地区画整理事業や、長津田駅北口地区第一種市街地再開発事業など、大規模な市街地整備が行われました。

こうした市街化の進展とともに、駅を中心として商店街が徐々に形成されていきました。また、昭和40年頃からは、上山町・青砥町・中山町の川沿いで工業集積が進み、都筑区の川向町・池辺町などとともに内陸工業地域の一端を担っていきました。昭和59年（1984年）には、横浜市が白山ハイテクパークを整備し、先端技術の研究開発企業を誘致しました。

一方、急激な市街地の拡大を受けて、昭和45年（1970年）に都市計画法による線引き（市街化区域と市街化調整区域の区分）が行われました。緑区においては、川沿いの農地一帯や丘陵地の農地及び樹林地一帯が市街化調整区域になりました。川沿いの市街化調整区域は、主に戦後の土地改良事業により良好な農地へと整備された場所です。鶴見川や恩田川の河川改修による治水機能の強化が行われ、氾濫による大きな水害もなくなりました。また、浜なしに代表される果樹園が広がるなど、都市農業が営まれてきました。

丘陵地の市街化調整区域では、谷戸や台地などにある農地の維持や自然を生かした大規模な公園の整備や市民の森の指定により、現在も自然豊かな環境が保全されています。



▲主な住宅開発の年代

出典：緑区まちづくり計画（平成26年2月）